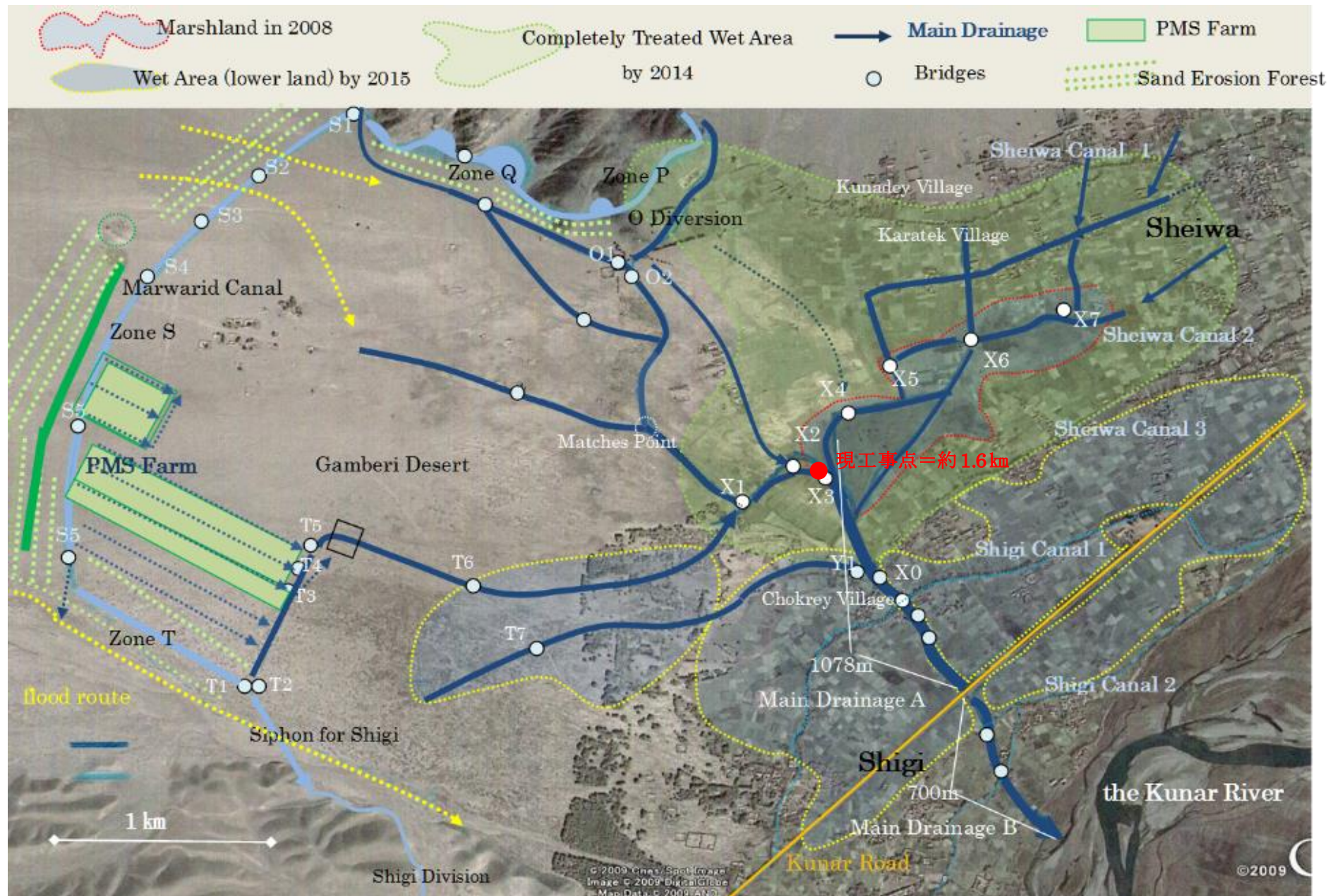


2017年3月6日受信①

ガンベリ排水路工事です。着工からまる1年を経過、3月3日現在、約1,645m（A区935m）地点のガンベリ分水点に迫っています。あと少しです。主な排水路分岐は、チュクレイ分水（Y1）、ガンベリ中流分水（X3）、シェイワ分水（X0-Y1）の対岸、ガンベリ上流分水（X4）です。



1,240m地点、シギ水道橋。まるで通潤橋のように浚渫用の排水口を備え、より大量の送水が可能になっている。2017年2月26日



同シギ水道橋。交通路としても安心して通れるようになっている。1m ほどの水深であれば、レンガ壁だけで十分耐える。レンガなら自在に改修がきく。
2017 年 3 月 5 日



歩道の架橋（約 1100m地点）。2017 年 2 月 26 日



交通路 (X0) とチュクレイ分水分点 (Y1)。以前の水位より約 2.5m低くなり、ガンベリ下流域は希望あり。2017 年 2 月 26 日



トラクターらの通過もできる道路の架橋（約 950m 地点）。2017 年 2 月 26 日



ガンベリ記念塔から見る難民キャンプ。マルワリードのガンベリ横断路から約 500mの彼方に、テント群が広がっている。昨年暮れからテントが立ち始め、現在 3000 家族と言われる。実態はよく知らされていない。パキスタンの送還難民だけでなく、クナール州などの国内避難民、遊牧民らも混じっている。同様のテント群が、PMS 作業地のベラ村でも増えてきている。2017 年 2 月 26 日



人間の苦難を他所に、季節は巡る。マルワリード用水路沿いでは、柳の芽がいっぱい膨らんでいる。2017年2月26日



ガンベリ分水路のヤナギ並木。2017 年 2 月 26 日



ガンベリ記念公園の早春。バラやザクロの開花が迫っている。しかし、付近の難民を思うと、今年は何故か大っぴらに喜べないムードがある。
2017年2月26日



植樹後 3 年目のオレンジ園。樹高約 2m 前後に成長。

